

第19回 道路行政マネジメントを实践する栃木県会議 議事要旨

開催日時：平成28年7月29日（金） 15：00～17：00

開催場所：宇都宮国道事務所2階会議室

出席者：早稲田大学 理工学術院 創造理工学部

	社会環境工学科 教授	森本 章倫（委員長）
(公社) 栃木県観光物産協会 会長		新井 俊一（欠席）
栃木県地区交通安全協会女性部連合会 会長		五十嵐清江
(株) 下野新聞社編集局地域報道部 宇都宮総局長		岩村 由起乃
(一社) 栃木県トラック協会 会長		笠原 秀人
(一社) 栃木県商工会議所連合会 会長		北村 光弘（欠席）
(一社) 栃木県安全運転管理者協議会 会長		相良 芳隆（欠席）
栃木県教育委員会 委員		陣内 雄次
(一社) 栃木県バス協会 会長		手塚 基文（代理出席）
NPO法人 e-とちぎ 代表理事		藤平 昌寿
栃木県警察本部 交通企画課長		山田 秀夫
交通規制課長		渡辺 千里
東日本高速道路(株) 関東支社宇都宮管理事務所 事務所長		渡辺 真人
栃木県 県土整備部 交通政策課長		嶋田 寛
道路整備課長		黒岩 伸年（代理出席）
道路保全課長		内田 浩二
都市計画課長		西川 能文（代理出席）
都市整備課長		中島 堯男
関東運輸局 栃木運輸支局 支局長		新井 直樹（代理出席）
国土交通省宇都宮国道事務所 事務所長		早野 英人

議事

(1) 渋滞対策関係

- ・ 渋滞対策の進捗状況確認
- ・ 最新の交通状況による分析結果の報告
- ・ 渋滞対策箇所の効果確認
- ・ 優先対策箇所の検討状況の確認
- ・ 主要渋滞箇所の見直し

(2) その他

- ・ 道路行政をめぐる最近の状況報告

【議事要旨】

(1) 渋滞対策関連

- ・今回の委員会のポイントは、主要渋滞箇所の321箇所のうち、昨年度までに解除された9箇所を除く、事業完了した49箇所のうち、2箇所を解除することと、交通渋滞が頻発している26箇所をさらなる検討優先箇所に選定し、渋滞要因の分析や対策を検討することである。
- ・芳賀・宇都宮では LRT 実現に向けて都市計画決定され、工事期間中の3箇年は道路の容量低下やある程度の渋滞等が予測できるため、今後のPDCA サイクルに織り込み、適切な対策を検討頂きたい。
- ・総合スポーツゾーン等、大規模な渋滞が予測される場所は、予防保全的視点で対策検討を行う事は重要である。また、バス等の公共交通・駐車場対策等も含めた総合的な対策で、渋滞緩和に寄与できる対策実施も重要である。
- ・PDCA サイクルの考え方・取組については、了解された。

(2) 道路行政をめぐる最近の状況報告

- ・圏央道等の高速道路開通によって、栃木県内の渋滞も解消されていくため、引き続き主要渋滞箇所のモニタリングを継続して頂きたい。

(3) 今後のスケジュールについて

- ・第20回の委員会は、引き続き開催する予定であるが、開催時期は未定である。

【その他ご意見等】

- ・雑草等の対策は、限られた予算の中で全てを対応する事は難しいが、安全面の障害箇所は解消していく事が重要である。
- ・自転車利用の増加に伴い、道路空間を再構築する際には、自転車空間の確保を検討して頂きたい。また、自転車利用の大きな転換期にあるため、自転車の車道通行原則を徹底すると共に、道路を作る側・使う側ともによく考え、今後どう使いこなしていくのか検討して頂きたい。
- ・PDCA サイクルを回し、交通状況を客観データに基づき継続的に検証する事は重要である。渋滞対策は引き続きモニタリングすると共に、公共交通や歩行者・自転車等の安全対策も充実できれば良い。
- ・インバウンド等の新しい観光需要や未来の不確定要素への対応等、PDCA の中で勘案できれば良い。